

環境目標（４）地球環境保全に貢献するまちづくり

～地球環境に配慮したライフスタイルへの変換～

地球環境問題の特徴のひとつは、その原因が先進諸国だけでなく地球全域に広がる多発生源分散型です。各国・各地域が発生源対策に根気よく取り組み、環境の保全・改善に向けた努力を続けていく以外、解決の道はありません。

こうしたことから、行政・事業者・市民がともに地球環境の保全に取り組み、地球のことを考えて暮らすまちづくりを進めます。

～現況～

環境学習

親と子の走る環境教室（環境課）

親と子の「走る環境教室」は、夏休み中の市内の小学生とその保護者を対象に参加者を募集し、マイクロバスなどを使って、市内外のリサイクル工場や環境関連施設の見学や勉強会を通じ、環境問題に対して理解を深め、その対策について親子で考えるものです。

【親と子の走る環境教室の開催状況】

年度	見学先
H13	県下水道科学館（平和町）自然共生研究センター（岐阜県川島町）
H14	王子製紙株式会社春日井工場（春日井市）愛知県環境調査センター（名古屋市）
H15	トヨタ「里山学習館エコの森ハウス」（豊田市）
H16	愛知県下水道科学館（平和町）愛知県環境調査センター（名古屋市）
H17	川売・梅の里、四谷・千枚田（旧鳳来町）段戸・きららの森（設楽町）
H18	でんきの科学館、エコパルなごや（名古屋市）
H19	コカ・コーラ東海北工場、東邦ガス株ガスエネルギー館（東海市）

みんなで創る博物館（文化課）

鳳来寺山自然科学博物館友の会会員や市内の小・中学生が日ごろの活動の成果を発表し、活動に関する情報発信の場として博物館特別展示室を使い、準備から展示まで市民の手作りの特別展「みんなの博物館展」を行っています。

また、博物館友の会会員によるボランティアグループ「博物館協力隊」（子どもから大人まで26名が登録）は、博物館主催で開催する野外学習などの補助や環境整備活動、資料整理などを行うとともに、友の会主催の自然観察会などの講師などもつとめています。

郷土の自然について調査、展示、教育普及、資料収集するといった、さまざまな博物館活動を市民ボランティアとともに力をあわせて推進しています。



環境美化活動

しんしろクリーンフェスタ（環境課・土木課）

本市では、毎年6月の環境月間に合わせて行なう市環境課の「しんしろクリーン作戦」と、10月に国土交通省が行う「川と海のクリーン大作戦」をひとつの環境美化活動として捉え、不法投棄をなくし、散乱ごみのない美しいまちづくりを進めるとともに、市全体の環境保全に対する意識の高揚を図るため、市民・事業所・行政が協働で行う大規模な清掃活動「しんしろクリーンフェスタ」を実施しています。

この「しんしろクリーンフェスタ」という名称には、本来ならお役的な活動を住民自らが率先して行動する「お祭り」のような行事として定着させていきたいという思いが込められています。



桜淵公園 笠岩橋



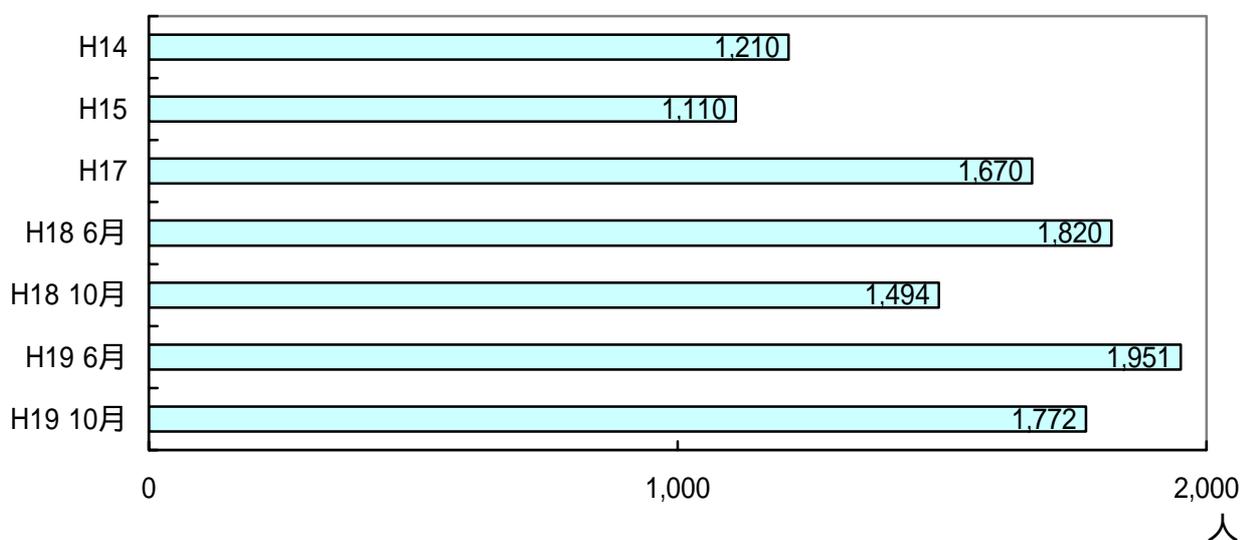
豊川右岸（豊島地内）

【実施状況】

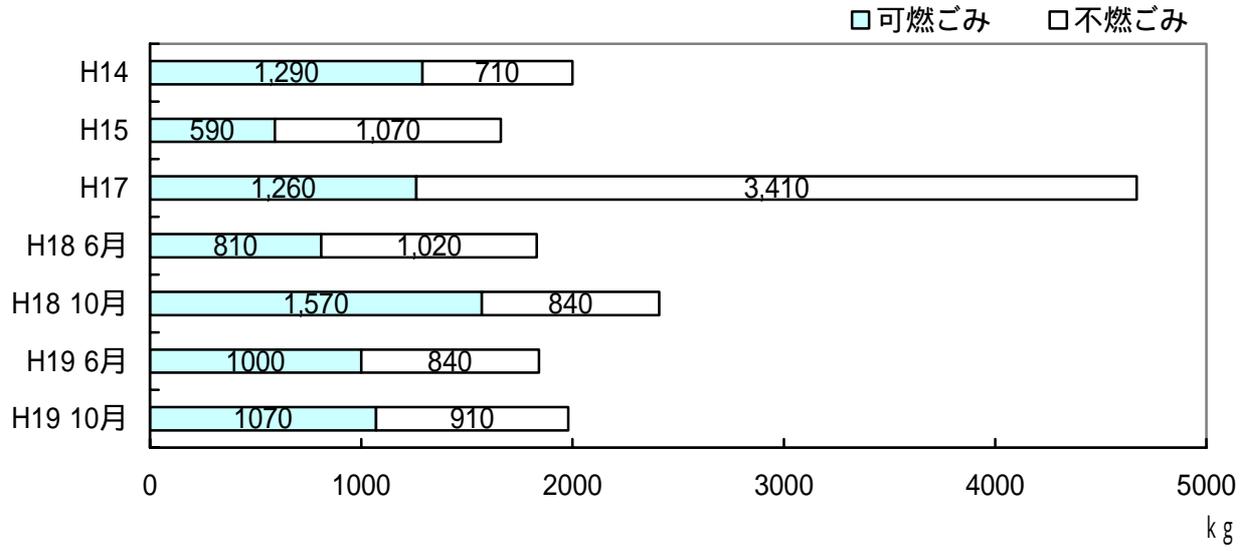
年度	実施場所
H14	桜淵公園及び周辺道路、県営新城総合公園周辺、豊川右岸・牟呂松原頭首工付近、東名高速道路下から静岡県境
H15	桜淵公園及び周辺道路、県営新城総合公園周辺、豊川右岸・牟呂松原頭首工付近、東名高速道路下から静岡県境
H17	桜淵公園及び周辺道路、県営新城総合公園周辺、豊川右岸・牟呂松原頭首工付近、東名高速道路下から静岡県境
H18	6月 桜淵公園及び周辺道路、豊川右岸・牟呂松原頭首工付近、国道301号東名高速下付近、長篠城址付近、山びこの丘周辺、菅守小学校周辺、開成小学校周辺
	10月 桜淵公園及び周辺道路、豊川右岸・牟呂松原頭首工付近、国道301号周辺、湯谷園地周辺、鳳来寺山周辺、巴小学校周辺、協和小学校周辺
H19	6月 東郷中学校周辺、桜淵公園周辺、豊島河川敷広場周辺、国道301号東名高速下周辺、山吉田小学校区、黄柳小学校区、東陽小学校区、鳳来東小学校区、菅守小学校区、開成小学校区
	11月 東郷中学校周辺、桜淵公園周辺、豊島河川敷周辺、国道301号東名高速下周辺、鳳来中部小学校区、鳳来寺小学校区、鳳来西小学校区、海老小学校区、連谷小学校区、巴小学校区、協和小学校区

平成16年度は雨天のため中止。

【参加人数の推移】



【ごみ回収量内訳】



豊川右岸（豊島地内）



桜淵公園 笠岩橋

～ 施策実施状況 ～

キーワード 環境を思いやるまち

施策の目標 環境に関する生涯学習の推進

教育のなかに環境問題を積極的に取り込むとともに、子どもから高齢者に至るまで環境に親しみ、考える仕組みづくりを行う生涯学習を推進します。

施策項目 子供の頃からの環境体験教育の推進

事業名	区分	担当課	評価
親と子の走る環境教室	継続	環境課	

取り組み内容

平成 19 年度は、ジュースなどの製造工場やエネルギー資料館を見学して、リサイクルのしくみや、世界中で注目されている地球温暖化防止に向けて、石油から天然ガスへの転換の必要性について学び、環境にやさしい行動へのきっかけづくりを行ないました。

開催日
平成 19 年 8 月 3 日 (金) 大人 9 名、子ども 12 名
平成 19 年 8 月 17 日 (金) 大人 16 名、子ども 20 名



課題・問題点等	開催日時の設定や訪問先との調整が難しい。
今後の展開	継続して開催していく。(見学先等は未定) アンケートの回答を参考に、多くの方が楽しく参加できるよう企画。

施策項目 子供の頃からの環境活動参加の促進

事業名	区分	担当課	評価
水生生物調査	継続	環境課	

取り組み内容

毎年、市内小中学校の生徒や行政区と一緒に学校付近を流れる河川の調査活動を行っています。ほぼ毎年、同じ地点の水生生物の調査をしますが、水質の状況を把握するとともに、地域の自然とふれあうことのできる良い機会となっています。また、地元の水生生物調査を実施することにより、地元の川を自分たちで守ろうという意識の高揚にもつながります。

【水生生物調査実施の状況】(平成 19 年度)

	学校・団体名	河川名	実施日	参加人数
1	舟着小学校	一級河川 大入川	6 月 13 日	21
2	協和小学校	一級河川 巴川	6 月 21 日	9
3	新城小学校	一級河川 豊川	6 月 26 日	92
4	八名小学校	一級河川 宇利川	6 月 27 日	22
5	千郷小学校	一級河川 野田川	6 月 28 日	71
6	千郷小学校	一級河川 野田川	6 月 29 日	68
7	東郷東小学校	準用河川 五反田川	6 月 29 日	44
8	庭野小学校	準用河川 原川	7 月 2 日	10
9	鳳来中学校	砂防河川 大井川	7 月 3 日	31
10	連谷小学校	清水川	7 月 3 日	10
11	海老小学校	砂防河川 谷川	7 月 4 日	19

【水生生物調査実施の状況】(平成19年度)

	学校・団体名	河川名	実施日	参加人数
12	菅守小学校	一級河川矢作川水系 菅沼川	7月5日	9
13	鳳来中部小学校	碁石川	7月6日	36
14	開成小学校	一級河川 巴川	7月9日	11
15	千郷中学校	準用河川 白子川	7月11日	23
16	東陽小学校	準用河川 真立川	7月18日	29
17	巴小学校	一級河川 巴川	7月18日	22
18	八名中学校	一級河川 宇利川	7月20日	16
19	東郷中学校	一級河川 豊川	7月25日	7
20	新城中学校	一級河川 田町川	7月26日	32
21	水生生物調査会 (石田区)	清水の小川	8月4日	30
22	水生生物調査会 (菅沼区)	菅沼川支流の小川	8月5日	30
23	山吉田小学校	一級河川 黄柳川	8月10日	13
24	水生生物調査会 (豊島区)	準用河川 杉川	8月25日	20
25	水生生物調査会 (豊島区)	殿田川支流(農業用水路)	8月25日	20

課題・問題点等 時期的に雨の多い季節であるため、予定どおり調査ができないこともある。学校側からの水生生物調査の依頼時期が集中することから、要望どおり対応できないケースがある。

施策の展開 水質だけでなく、水生昆虫の生息状況の経年変化も把握できるよう、市内全小中学校で毎年計画的に調査活動を行うことができるよう調整を図る。

事業名	区分	担当課	評価
出張授業	継続	環境課	

取り組み内容

持続可能な社会を構築していくためには、個々の住民の環境に配慮した行動も大切です。「気候変動」に対し、理解し、自ら考え行動していただくため、要望により説明会を実施しました。

主な講座内容については次のとおりです。

- ・地球温暖化問題(担当:環境課)
- ・水生生物調査(担当:環境課)
- ・ごみ・リサイクル(担当:生活衛生課)

1授業90分を基本に、受講される方の習熟度によって講座内容を変更しています。



期日	開催場所	対象者
4月18日	新城観光ホテル	ライオンズクラブ会員 52名
4月26日	鳳来開発センター	市生活環境委員 160名
8月3日	親と子の走る環境教室 (行程バス内での温暖化教室)	市内小学生(4年生~6年生)とその保護者 大人9名、子ども12名
8月6日	愛知県新城設楽山村振興事務所	県主催 夏休み親子講座 8名
8月7日	鳳来中央集会所	県主催 夏休み親子講座 8名

8月17日	親と子の走る環境教室 (行程バス内での温暖化教室)	市内小学生(4年生~6年生)とその保護者 大人16名、子ども20名
10月10日	山吉田小学校	生徒12名
10月31日	千郷中学校	生徒36名
11月6日	三湊山の工房	新城青年会議所 20名
11月29日	新城商工会館	商工会青年部 40名
12月6日	新城幼稚園	園児18名
1月9日	新城幼稚園	園児の親 95名
2月13日	巴小学校	生徒24名

課題・問題点等 出張授業を実施していることに対する周知をいかに行なうかが問題である。

施策の展開 今後も内容等を検討し、継続して出張授業を行なう。

施策の目標 環境学習・活動の拠点づくり

環境に関する各種講座・研修・イベントなどの開催を通じて環境学習の普及啓発を図るとともに、活動拠点となる場の確保とその支援体制を整えます。

施策項目 環境に関する各種講座・研修・イベントなどの開催

事業名	区分	担当課	評価
市民環境講座	継続	環境課	

課題・問題点 講座参加者人数の減少。講座テーマの固定化。

施策の展開 市民環境講座の開催案内のPR方法を検討し、より多くの市民の方に参加してもらえよう工夫していく。

取り組み内容

地球温暖化をテーマに、今、起こっている問題をできるだけ多くの方に知ってもらうため、そうした情報を届ける機会のひとつとして連続講座(全3回)を実施しました。



愛知新城大谷大学講堂を会場に、NPO 環境市民代表理事 枚本育生氏を講師にお招きし開催された市民環境講座

【平成19年度開催状況】

回数	テーマ	実施日	会場
第1回	CO マイナス60をめざして ~温暖化の現状・影響・予測~	1月12日	愛知新城大谷大学
第2回	環境首都からみえる脱温暖化社会	1月26日	愛知新城大谷大学
第3回	地球温暖化を防ぐグリーンコンシューマー	2月2日	愛知新城大谷大学

新たな課題 今後の展開 広く市民に興味を持っていただける講義内容の工夫と、開催会場、時期などについて検討し、多くの市民の参加を促す。

事業名		区分	担当課	評価
水道に関する環境学習		継続	水道課	
課題・問題点	学習対象者および講座内容の固定化。			
施策の展開	継続して開催していく。 水道の基礎知識を学習し、水資源の大切さなどを学習できる機会としたい。			
取り組み内容				
<p>将来を担う子供たちに、水道に関する基礎知識を学んでもらうことにより、水環境に対する興味と関心をもってもらうことを目的として、毎年市内小学校の4年生を対象に水道教室を実施しています。水道講座（パワーポイントによる水道の基礎知識の学習および簡易急速ろ過実験）および、希望校については鯉淵浄水場はじめ、それぞれ地区の浄水場見学を実施しています。</p>				
				
【水道に関する環境学習実施状況】（平成19年度）				
学校名	内容	実施場所	実施日	参加人数
新城小学校	講座・見学	鯉淵浄水場・桜淵水道監視センター	6月4日	89名
東郷東小学校	講座	東郷東小学校	6月8日	42名
鳳来西小学校	講座	鳳来西小学校	6月13日	11名
八名小学校	講座・見学	鯉淵浄水場・桜淵水道監視センター	6月19日	42名
連谷小学校	講座	連谷小学校	6月19日	6名
千郷小学校	講座	千郷小学校	6月20日 6月22日	62名 66名
東郷西小学校	講座・見学	鯉淵浄水場・桜淵水道監視センター	6月21日	60名
舟着小学校	講座・見学	鯉淵浄水場・桜淵水道監視センター	6月26日	19名
山吉田小学校	講座	山吉田小学校	6月27日	12名
庭野小学校	講座・見学	鯉淵浄水場・桜淵水道監視センター	6月29日	8名
菅守小学校	講座・見学	菅守小学校・北部浄水場	7月2日	8名
東陽小学校	講座・見学	東陽小学校・大野浄水場	7月4日	27名
黄柳野小学校	講座・見学	黄柳野小学校・南部第2浄水場	7月5日	7名
鳳来中部小学校	講座・見学	鳳来中部小学校・中央浄水場	7月9日	34名
新たな課題 今後の展開	対象者の拡大。一般市民向けの講座内容を検討し、生活環境の変化にあわせ、水道だけにこだわらず、水に関する身近なテーマを取り上げ、開催できるように計画をしていく。			

事業名		区分	担当課	評価
環境ポスターコンクール		継続	環境課	
取り組み内容				
<p>本市では、環境美化やごみの減量とリサイクル意識の高揚を高め、環境問題への関心を促すため、環境ポスターコンクールを行っています。夏休みに合わせ、市内小学4年生を対象に作品を募集します。</p> <p>平成19年度応募点数263点</p> <p>入賞 金賞2名 銀賞3名 銅賞5名 入選10名</p> <p>【平成19年度金賞作品】</p>				
				
課題・問題点等	小学4年生のみと限定した取り組みであるため、広く市民にもこうした取り組みを広げていきたい。			
施策の展開	環境意識高揚のため、継続して行う。応募促進のためのPRを行う。環境ポスターだけでなく、市民向けの取り組みを行う。			
事業名		区分	担当課	評価
キャンドルナイト新城 2007		継続	環境課	
取り組み内容				
<p>キャンドルナイト新城は、ペットボトルや雨水利用、職員の自宅等でいらなくなったロウソク等を再利用した手作りのエコキャンドルを灯し、電気等のエネルギーを使わずにゆっくりとした夜を楽しむことで、省エネルギーなどに対する考えを深めていただく「きっかけ」となればと考え、開催しています。</p>				
				
キャンドルで市章をレイアウト		演奏会も行われました		
<p>いま、地球温暖化問題が深刻化しています。</p> <p>このままの状態では温暖化が進むと、水や食べ物の不足など様々な問題が起こり、次世代の生存についての危機がくると言われています。</p> <p>温暖化の原因は、たくさんの水や電気、化石燃料（石油、ガソリンなど）を使い、そして、たくさんのごみを捨てるといったわたしたちのいまのライフスタイルにあります。</p> <p>わたしたちがライフスタイルを見直すことで、温暖化問題は解決の方向に向かいます。</p> <p>こうしたことから、仲間や家族、学校、会社など様々なグループで「電気を消してスローな夜」を感じ、今一度、生活の原点を見つめ直すきっかけづくりとして、10月27日夜、新城文化会館において、新城ライオンズクラブが主催する「不都合な真実」の上映とともに、キャンドルナイト新城実行委員会が主となった「キャンドルナイト」を行いました。</p> <p>あたたかな灯火に想いを込め、地球に優しい取り組みとしていきます。</p>				
課題・問題点	開催日の天候によってイベント内容が大きく左右されてしまうこと。これからの温暖化対策につながるよう、多くの市民が参加できるようなしくみの構築が必要。			
施策の展開	企画段階から多くの市民・事業所の方が、キャンドルナイト新城実行委員会の運営に参加いただけるような取り組みが必要。			

事業名	区分	担当課	評価
緑のカーテン事業	新規	環境課	
取り組み内容			
<p>夏に向けた温暖化の取り組みとして緑のカーテンを設置しました。</p> <p>緑のカーテンは、つる性の植物を建物の壁面に繁茂させることで、温暖化の原因である二酸化炭素を吸収するだけでなく、窓の遮光による室内温度の軽減させる目的で行います。都市部ではヒートアイランド現象の緩和につながることからさかんに行われています。うまく葉っぱのカーテンができると、その外側と内側では7 以上の気温差が出ることもあるそうです。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="391 555 724 887">  </div> <div data-bbox="895 622 1246 887">  </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div data-bbox="309 965 762 1245">  <p data-bbox="379 1263 687 1294" style="text-align: center;">環境課のゴーヤカーテン</p> </div> <div data-bbox="852 954 1305 1245">  <p data-bbox="884 1263 1222 1294" style="text-align: center;">市庁舎 2 階の緑のカーテン</p> </div> </div>			
<h3>ゴーヤでクッキング</h3>			
<p>市民体育館環境課南側で実ったゴーヤを使った料理を行いました。思いのほか良くできましたのでご紹介します。</p>			
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="325 1554 679 1816">  <p data-bbox="432 1823 549 1854" style="text-align: center;">調理風景</p> </div> <div data-bbox="922 1554 1273 1816">  <p data-bbox="999 1823 1198 1854" style="text-align: center;">ゴーヤ料理 4 品</p> </div> </div>			
課題・問題点等	植物であるため常日頃の手入れが、頻繁に必要となる。植物を繁茂させる時期と、緑のカーテンが必要となる時期を調整する必要がある。		
施策の展開	市内の事業所、一般家庭に緑のカーテン事業を普及、展開していく取り組みが必要。		

施策の目標 活動グループの育成

指導者の育成をはじめ地域コミュニティなどの活動グループづくりを促進するため、市民や企業の参加を積極的に支援します。

施策項目 NPOによる環境改善活動の活発化と交流の促進

事業名	区分	担当課	評価
森と人をそだてる森林総合産業創出プロジェクト	継続	森林政策課	

取り組み内容

山村の過疎・高齢化やそれに伴う林業従事者の不足、採算のとれる産業として成り立ちにくい森林関連産業を取りまく状況を背景として、放置・荒廃化している森林を対象に、これまでとは異なる多様な角度から森との「関わり」を創出し、「新たな日本の森づくり」を進めるための具体的な活動を行う「森と人をそだてる森林総合産業創出プロジェクト」が、平成18年11月16日、地域再生計画として認定されました。

市内の森林NPOの活動を中心に、森林に関する基礎知識の学習や間伐・枝打ち・下草刈りなどはもとより、森林ボランティアリーダーを養成するための講座を開催するなど、森づくりと人づくりのしくみを構築します。

平成19年度においては計18回開催され、市内外より250名ほどが参加しました。



課題・問題点等 積極的な市民参加の拡大

施策の展開 活動内容を広く市民等にPRしながら展開していく。

施策項目 市民・事業者参加の手法・仕組みづくり

事業名	区分	担当課	評価
チーム・マイナス6%しんしろ	継続	環境課	

取り組み内容

新城市民が一つのチームとなり、温暖化の防止施策を無理なく、楽しく、できる限り大きな成果を挙げることを目的として「チーム・マイナス6% しんしろ」を結成しました。

そして、今までの便利な生活から脱皮するという想いを持ち、まずは無理なくできることから始めようと、市長自らが「チーム・マイナス6%」の6つのアクションに取り組むことを宣言し、市民や職員に率先行動を呼びかける「キャストオフ宣言」を行いました。

「チーム・マイナス6%」って何するの？

CO2削減のために、具体的な「6つのアクション」を提案しています。チーム全員が、日々のちょっとした気遣いを積み重ねれば、確実に大きな削減効果が期待できます。

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1. 温度調節で減らそう | 4. 商品の選び方で減らそう |
| 2. 水道の使い方で減らそう | 5. 買い物とごみ袋で減らそう |
| 3. 自動車の使い方で減らそう | 6. 電気の使い方で減らそう |

平成19年度未登録数 個人821名 団体6団体

【平成19年度 チーム・マイナス6%しんしろの活動状況】

月 日	活動の内容
4月18日	新城ライオンズクラブ例会において、みんなで止めよう温暖化、チーム・マイナス6%と題し、温暖化の現状などを紹介するとともに、チーム・マイナス6%しんしろのPRを行いました。 新城観光ホテル
4月26日	平成19年度新城市生活環境委員会議においてみんなで止めよう地球温暖化、チーム・マイナス6%しんしろのPRを行なう。
5月16日	チーム・マイナス6%しんしろが、環境省のチーム・マイナス6%の団体チーム員として登録されました。
6月8日、9日(再放送6月15日、16日)	オフトーク(鳳来地区)を使った地球温暖化防止のための情報番組を放送しました。(全8回)
6月17日	市役所本庁舎と市民体育館に緑のカーテン事業としてゴーヤ・フウセンカズラを植えました。本庁舎1階市民課南側(ゴーヤ)2階企画課北側(フウセンカズラ)
6月21日	キャンドルを灯し、省エネや温暖化について考えるためのキャンドルナイト・イベントを市民等と協働で行うための委員を公募し、その企画運営のためのしんしろエコアクション実行委員会の第1回目会合を開催しました。 市民体育館第1会議室 15名
6月22日、23日(再放送6月29日、30日)	オフトーク(鳳来地区)を使った地球温暖化防止のための情報番組を放送しました。(全8回)
7月3日	しんしろ環境あいうえお会議において、作成した市民・職員等への勉強会の資料を確認してもらい、市民目線からのアドバイスをいただきました。 市民体育館第1会議室
7月6日、7日(再放送7月13日、14日)	オフトーク(鳳来地区)を使った地球温暖化防止のための情報番組を放送しました。(全8回)
7月7日、8日	チーム・マイナス6%しんしろをPRするため、バイクナビ実行委員会が主催するツール・ド・新城に参加しました。チーム・マイナス6%チーム員登録受付・・・2日間のチーム員登録数70名 2時間エンデューロ・ママチャリ部門にエントリー・・・6位入賞
7月12日、13日	新城市消防職員を対象としたみんなで止めよう温暖化、チーム・マイナス6%の勉強会を開催しました。 新城市消防本部鳳来分署
7月13日	第2回目のしんしろエコアクション実行委員会を開催しました。正式にキャンドルナイト新城を開催するため、開催の趣旨を実行委員が確認しあい、委員会名をキャンドルナイト新城実行委員会としました。 新城市勤労青少年ホーム(委員11名)
7月20日、21日(再放送7月27日、28日)	オフトーク(鳳来地区)を使った地球温暖化防止のための情報番組を放送しました。(全8回)
7月23日	6月18日から24日までの期間に、市職員に日常生活でのCO2削減につながる省エネ等の取り組みエコ週間を実施した結果、23名の報告で1週間150.01kgCO2を削減できました。
8月1日	新城市消防職員を対象としたみんなで止めよう温暖化、チーム・マイナス6%の勉強会を開催しました。 新城市消防本部
8月2日	第3回目のキャンドルナイト新城実行委員会を開催しました。キャンドルナイト新城の開催日等を検討しました。 新城市勤労青少年ホーム(委員9名)
8月3日	平成19年度1回目の親と子の走る環境教室を開催しました。コカ・コーラ株式会社東海北工場、東邦ガス株式会社ガスエネルギー館での見学を通して、親子で温暖化対策について学びました。 参加人数大人9名、子ども12名

8月3日、4日(再放送8月10日、11日)	オフトーク(鳳来地区)を使った地球温暖化防止のための情報番組を放送しました。(全8回)
8月6日、7日	県の主催による夏休み親子講座において、車の排気ガス調査に協力し、チーム・マイナス6%をPRしました。愛知県新城設楽事務所、鳳来中央集会所
8月9日	山吉田小学校において、教職員を対象に新城市の環境の取り組みについての学習会を開催し、同時にチーム・マイナス6%のPRをしました。教員9名
8月13日	新城納涼花火大会開催前、午後4時から市役所本庁舎～新城幼稚園までの通りに打ち水作戦を行いました。打ち水には、通り沿いに居住する市民や新城幼稚園の職員が率先して協力してくださいました。
8月17日	平成19年度2回目の親と子の走る環境教室を開催しました。コカ・コーラ株式会社東海北工場、東邦ガス株式会社ガスエネルギー館での見学を通して、親子で温暖化対策について学びました。参加人数大人16名、子ども20名
8月17日、18日(再放送8月24日、25日)	オフトーク(鳳来地区)を使った地球温暖化防止のための情報番組を放送しました。(全8回)
8月23日	県の主催による夏休み親子講座において、車の排気ガス調査に協力し、チーム・マイナス6%をPRしました。愛知県新城設楽事務所
8月24日	緑のカーテン事業で採れたゴーヤを使った料理を行いました。ゴーヤチャンプルー、ゴーヤ天ぷら、ゴーヤパスタ、ゴーヤの肉詰め計4品
8月24日	第4回目のキャンドルナイト新城実行委員会を開催しました。キャンドルナイト新城の開催日等を検討した結果、新城ライオンズクラブ主催の映画・不都合な真実鑑賞会との同日開催により行うこととなりました。
8月31日、9月1日(再放送9月7日、8日)	オフトーク(鳳来地区)を使った地球温暖化防止のための情報番組を放送しました。(全8回)
9月4日	第5回目のキャンドルナイト新城実行委員会を開催しました。キャンドルナイト新城の内容等を検討しました。新城市勤労青少年ホーム(委員9名)
9月5日	キャンドルナイト新城に使用する竹を使ったキャンドル約100本を作成しました。
9月14日、15日(再放送9月21日、22日)	オフトーク(鳳来地区)を使った地球温暖化防止のための情報番組を放送しました。(全8回)
9月24日	愛知県が主催したエコドライブ講習会にチーム・マイナス6%しんしろ事務局として参加しました。豊橋市ユタカ自動車学校
9月26日	第6回目のキャンドルナイト新城実行委員会を開催しました。キャンドルナイト新城の準備状況等の報告に対する課題を検討しました。新城市民体育館第1会議室(委員10名)
10月7日	2回エコドライブラリー「奥三河」味・走「選手権!」において、湯谷温泉チェックポイントで参加者へのエコドライブに関するクイズを行いました。
10月10日	山吉田小学校4年生に対し、みんなで止めよう!温暖化について講師として出張授業を行いました。児童12名
10月12日	第7回目のキャンドルナイト新城実行委員会を開催しました。キャンドルナイト新城の内容等を検討しました。新城市勤労青少年ホーム(委員11名)
10月13日	新城市教育委員会が主催する市民文化講座において、赤星たみこ氏による講演・ごみを出さない暮らしのコツが開催されました。チーム・マイナス6%しんしろのPR用ののぼりにサインをいただきました。
10月25日	第8回目のキャンドルナイト新城実行委員会を開催しました。キャンドルナイト新城の最終打ち合わせを行いました。新城市勤労青少年ホーム(委員11名)
10月27日	新城ライオンズクラブ主催の映画・不都合な真実鑑賞会が開催されました。新城文化会館大ホール鑑賞者数約800名 チーム・マイナス6%チーム員登録数48名「キャンドルナイト新城実行委員会」による「キャンドルナイト新城」を開催しました。城文化会館はなのき広場
10月31日	千郷中学校1年生に対し、温暖化を中心とした地球環境問題と地域の課題について講師として出張授業を行いました。生徒36名

11月6日	新城青年会議所のメンバーに対し、現実を知ってください。温暖化はここまで進んでいます！と題し、IPCCの第4次報告書を参考とした温暖化の現状などを紹介するとともに、チーム・マイナス6%しんしろのPRを行いました。
11月11日	チームマイナス6%しんしろをPRするため、つくで祭りに参加しました。 鬼久保ふれあい広場 チーム員登録数78名
11月18日	山吉田小学校4年生が、学習発表会において温暖化防止についての劇を公演し、父兄等に温暖化防止行動の実践を呼びかけました。 参観者父兄・来賓約200名
11月22日	市役所、市民病院等公共施設管理の担当職員に対し、財団法人省エネルギーセンターによる省エネのための省エネルギー診断を実施するための説明会を開催しました。 勤労青少年ホーム
11月29日	新城商工会青年部環境研修会において、現実を知ってください。温暖化はここまで進んでいます！と題し、IPCCの第4次報告書を参考とした温暖化の現状などを紹介するとともに、チーム・マイナス6%しんしろのPRを行いました。 新城商工会館
12月6日	新城幼稚園の園児に対し、「みんなでとめよう温暖化」と題し、温暖化の現状や影響、みんなにもできることなどを紹介しました。
12月14日	キャンドルナイト新城実行委員会を開催しました。キャンドルナイト新城の企画運営に対する課題等を話し合いました。 市民体育館第1会議室(委員11名)
1月9日	新城幼稚園のPTAに対し、現実を知ってください。温暖化はここまで進んでいます！と題し、IPCCの第4次報告書を参考とした温暖化の現状などを紹介するとともに、チーム・マイナス6%しんしろのPRを行いました。 チーム員登録95名
1月12日	成19年度の市民環境講座第1回目を開催。テーマは、「CO2 マイナス60をめざして 温暖化の現状・影響・予測」として、講師のNPO環境市民代表理事 枚本育生さんから、今地球で起こっている温暖化の現状などを紹介していただきました。また、会場の愛知新城大谷大学大講義室の入口前において、チーム・マイナス6%しんしろの登録ブースを開設しました。 講座参加者50名
1月26日	市民環境講座第2回目を開催。テーマは、「環境首都からみえる脱温暖化社会 ドイツと日本の先進事例から」として、枚本育生さんから、環境先進地ドイツでの事例や日本での取り組み状況などを紹介していただきました。この日も第1回目と同様に、会場の愛知新城大谷大学大講義室の入口前において、チーム・マイナス6%しんしろの登録ブースを開設しました。 講座参加者42名
2月2日	市民環境講座第3回目を開催。テーマは、「地球温暖化を防ぐグリーンコンシューマー リサイクルよりリユース」として、枚本育生さんから、私たちができる具体的な実践行動などを紹介していただきました。この日も第1・第2回目と同様に、会場の愛知新城大谷大学大講義室の入口前において、チーム・マイナス6%しんしろの登録ブースを開設しました。 講座参加者59名
2月13日	巴小学校5、6年生に対し、みんなで止めよう！温暖化について講師として出張授業を行いました。 児童24名
2月18日	経営層・管理職を対象にエコガバナンス研修を開催。テーマは、「地球温暖化の厳しい現実とその緩和策と適応策」として、NTT GPエコ(株)の埋田基一さんを講師に向かえ研修を受けました。
3月3日	しんしろ節句祭りにおいて「エコファッションショー」に参加。趣旨に賛同したチーム員数名も舞台上でダンスを披露し会場を盛り上げた。 新城文化会館大ホール
課題・問題点等	市民等に対し省エネやごみ減量などの具体的な行動を呼びかけるため、まずは職員の温暖化に対する正しい知識に基づく率先行動を促すことが必要。
施策の展開	市民への地球温暖化防止の取り組みを広げるため、自主参加を基本とした勉強会をはじめ、温暖化に対する理解を深めるとともに、チーム・マイナス6%を推進する。同時に市民・事業所・行政との協働の取り組みにつながるよう、事業所、市民団体等への温暖化説明会も開催していく。また、様々な実践やイベントへの参加を通じて、広く市民にも具体的な温暖化対策をPRしていく。